

薬用作物産地支援 栽培技術研修 中国・四国会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 観音寺市民会館（香川県観音寺市観音寺町甲 1 1 8 6 - 2） 会議室 7

実施時期： 9月7日(水)～9月8日(木)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
9月7日 (水)	13:20- 13:45 (25分)	13:00現地集合 場所：観音寺駅前（JR 四国予讃線） 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:45- 15:15 (90分)	〔講義・現地研修〕 薬用作物栽培について	三豊薬草園（みとよ やくそうえん）における現地研修で、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	田中 照男	三豊薬草園
	15:15- 15:45 (30分)	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:00- 17:00 (60分)	〔講義〕 薬用作物の実需者ニーズと 今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	調整中	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
9月8日 (木)	9:00- 10:10 (70分)	〔講義〕 薬用作物の栽培法と調製 法について（仮題）	ミシマサイコの栽培法及びミシマサイコ、トウキ、シャクヤクの調製法について、実際の生薬サンプルを示しながら解説する。	飯田 修	国立研究開発法人医薬 基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究セン ター 客員研究員
	10:20- 10:50 (30分)	〔講義〕 農水省委託プロジェクト研 究「薬用作物の国内生産 拡大に向けた技術の開発」 について（仮題）	トウキ、ミシマサイコ等の主要5品目について高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的とした当該プロジェクト研究が昨年度完了した事を受け、得られた成果について解説する。	矢野 孝喜	農研機構西日本農業研 究センター 中山間畑作園 芸研究領域 施設園芸グ ループ 主任研究員
	11:00- 12:00 (60分)	〔講義〕 山口県における薬用作物 栽培の取り組みについて （仮題）	山口県における薬用作物栽培の取り組みについて、上記プロジェクトに参画して得られた成果も併せ紹介する。	安永 真	山口県農林総合技術セン ター 農業技術部 園芸作 物研究室 果樹栽培グル ープ 専門研究員
	12:00- 13:00	昼休み			
	13:00- 14:30 (90分)	〔情報交換会〕 各地域の薬用作物産地形 成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:30- 14:50	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	